

自立活動だより

08

外界を捉えて
認識する力

読み

書き

算

井手やまぶき「4R's」

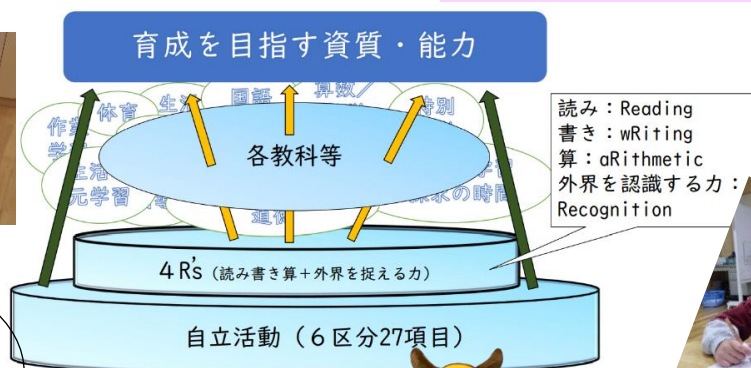
自立活動の指導で育てる基礎的な学力



自立活動の目標

「個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達を基盤を培う」

今年度、各学級で様々な自立活動の取組を進めてきました。自立活動は特別支援教育の要であり、各教科の学習の土台となる領域です。その中でも特に、本校では、読み書き算の力を「4R's」(Recognize・Reading・wRiting・aRithmetic)として、自立活動の指導を中心に育成しています。外界を認識する力や読み書き算の力が身に付くことで、教科の中で育成したい力をより高めることができます。自立活動の時間では、4R'sを育てる取組のほか、身体・感覚を育てたり、コミュニケーションに関する内容を扱ったり等、個々の児童生徒の実態に応じた内容を指導しています。



正しく鉛筆を持って
枠内に収めて
書くことも学
びます。



「できました」と報告し、
褒められる経験も大切に。

自立活動の内容

- (1) 健康の保持
- (2) 心理的な安定
- (3) 人間関係の形成
- (4) 環境の把握
- (5) 身体の動き
- (6) コミュニケーション



様々な文字や単語の読み
書きを習得しています。

読み書きの他、聞く・話すこ
と(しっかり口を開け、分かり
やすく伝える力)を高める指導
にも取り組みます。
取り組む中で、自信をもって
声を出せるようになりました。



自立活動「ころあっぷタイム」研修会を開催し、
同志社大学心理学部 石川信一教授に御講演いただきました。



2月に同志社大学心理学部教授 石川信一先生を招き、高等部みらいデザインコースの自立活動「ころあっぷタイム」の授業参観と御講演「メンタルヘルス予防教育プログラムの考え方を日々の指導で活かす 一子どもの不安を和らげるには一」をいただきました。

生徒たちがしっかり自分で思考し、苦手なことにも挑戦したり、友達と意見共有したりする様子に、生徒たちに合わせた工夫がなされ、生徒たちが力をつけていると講評いただきました。

